

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	88	新エネルギー推進事業	01	01	一般会計
基本施策	25	地球環境にやさしい生活を送る	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名	大山田支所総務振興課		102	102	地域振興経費
作成者氏名	池口 法行	連絡先	47 - 1150	11	新エネルギー推進事業
				細々目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
・地球環境 ・風力発電施設周辺地域住民 ・観光客		風力発電施設なので、地域の温暖化防止になっている。なお、地域住民及び観光客などが、風力発電施設を訪れ、地球環境に配慮しなければならぬといった意識の高揚に繋がり、風力発電施設周辺の地域の活性化に繋がっている。
本年度事業内容	・風力発電施設青山高原ウインドファームの広域的広報 ・風力発電推進市町村全国協議会主催「全国風サミットinたはら」への参加(風力発電推進市町村との情報共有及び情報交換) ・ウインドパーク笠取整備に係る民間事業者への行政的支援	
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳 (千円)	事業費(B)	23	20	20
	旅費	3	0	0
	負担金	20	20	20
	その他	0	0	0
合計(A+B)		743	740	740
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	743	740	740
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
風力発電推進市町村全国協議会主催事業への参加	回	1	1	2			

情勢の変化及び事業の改善点等

大山田村当時、「環境」「省エネルギー」「新エネルギー」に対する積極的取り組みが、また新たに「風力発電施設」という形で整備されたことにより、住民意識の高揚を図り、次代の要求に促した政策推進で地域の活性化に役立てるとともに、風力発電による事業収益を図ることで、将来の子供たちに意義ある施設として推進を図かるということを目的に、旧大山田村や旧久居市、民間事業者が出資した、(株)青山高原ウインドファームと連携し、各事業に取り組んできた。しかし、伊賀市になり、この施設の認知度は、全市的にみて低い、今後は、(株)青山高原ウインドファームとの連携を強化し、観光面から企画し、広域的にPRを行う。

評価	達成度	2	風力発電施設の住民への周知が不十分であったため、達成度は低い。コスト削減については、最小限必要な経費なので、効率性が高い。
	効率性	4	